

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市とどろきアリーナ	評価対象年度	平成25年度
事業者名	川崎市スポーツ協会・三井物産ファシリティーズ共同事業体 <構成団体> ・公益財団法人川崎市スポーツ協会(平成23年11月1日 財団法人川崎市体育協会から社名変更) ・三井物産ファシリティーズ株式会社(平成23年9月1日 アーバンプラス株式会社から社名変更)	評価者	中原区役所まちづくり推進部 地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	中原区役所まちづくり推進部地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	37,253	54,715	52,900	38,251	58,217	69,214	50,544	69,747	43,294	47,920	49,557	53,284	624,896
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費	287,964										
		利用料金収入	87,563										
		事業収入他	17,289										
		収入計	392,816										
	支出	人件費	149,400										
		委託費	92,562										
		その他経費	144,123										
支出計		386,085											
収支差額		6,731											

左表は、指定管理事業に関わる収入・支出のみ

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	4(0.8)	4
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 全般的に、事業計画に基づいた施設の運営がなされていると評価する。 老若男女・親子・障害者など、幅広い層を対象とした多種多様のプログラムを用意することで、市民の生涯スポーツ振興に寄与しており、大変評価する。 また、常日頃から、様々な手法により利用者の声に耳を傾けるよう努力しており、その成果として個人利用者の増加や収入増加につながっているため、大きく評価する。				
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 各項目ともに、事業計画に基づいた管理業務がなされている。 施設の老朽化への対応、延長利用への柔軟な対応など、全般的に適切かつ積極的に各管理業務に取り組んでいる。 また、少しずつではあるがメインアリーナの稼働率が向上している。 危機管理面では、「平常時の危機管理マニュアル」の策定及び各種訓練を実施するなど、積極的な姿勢で取り組んでいる。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 全体的に事業計画に基づいた事業の実施がなされている。 前年度に引き続き、個人開放事業や教室事業について、幅広いニーズ・年齢層に対応する種目を検討し、多様な市民ニーズに応え、結果として利用者の大幅な増加につなげたことは、努力の成果と捉え大きく評価する。 また、その他の各事業についても、積極的に取り組み、市民の生涯スポーツの振興につながる多くの機会を提供した。					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行している。				

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。 平成25年度は各種教室やトレーニング室の個人利用に関して、幅広い利用者に対し、創意工夫を凝らしたメニューを揃え、大きく利用者の増加につなげたことは、大変評価する。 上記のことは、稼働率・収入面の向上にもつながっている。 また、施設老朽化や自然災害等に対して、財政事情が逼迫し予算不足が続く中、臨機応変に対応していることも評価する。 一方、平成25年度に行われた財政援助団体等監査における指摘をふまえ、今後は行政関係部署とより緊密な連携と情報共有を図り、適切な事務処理による、よりよい市民サービスの提供に努めてもらいたい。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>平成26年度も引き続き、利用者のニーズに常に耳を傾け、幼児から高齢者まで市民誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめる拠点として、市民の健康、体力の維持・増進やスポーツ活動の推進に努め、生涯スポーツの振興を図るよう努めてもらいたい。 また、公平で公正な利用を確保しつつ、経済性にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めてもらいたい。 平成26年4月からの貸館区分の4コマ化に伴い、利用者の混乱も予想されるが、丁寧な対応と分かりやすい説明により、利用者理解をしていただくよう努めてもらいたい。 なお、昨年度から要請していた、より見やすいホームページづくり及び利用者目線にたった親切丁寧な対応のための接遇力向上については、より一層の改善に努めてもらいたい。 平成32年(2020年)の東京オリンピック・パラリンピックなども視野に入れ、本市の代表的なスポーツ施設として、内外に誇れる施設運営を目指してもらいたい。</p>
--